



2019年11月 会報 厚木ワイズメンズクラブ 第182号

日下部クラブ会長 楽しく 気長に じっくりと  
 主 湘南・沖縄部部长 ワイズを社会に広める基盤の再構築をする  
 東日本区理事 勇気ある変革, 愛ある行動  
 題 アジア太平洋地域会長 Action!  
 国際会長 より良い明日のために今日を築く

厚木クラブホームページ:  
<http://ys-atsugi.jimdo.com/>



第1例会報告

防災対策について

厚木市 市長室 危機管理課

9月25日厚木YMCAの教室にて厚木市危機管理課のお二人来ていただき、厚木市の災害対策について卓話を頂きました。厚木ワイズメンバーのみでなくYMCAの職員の方たちにも一緒に聞いていただきました。

<以下卓話内容>

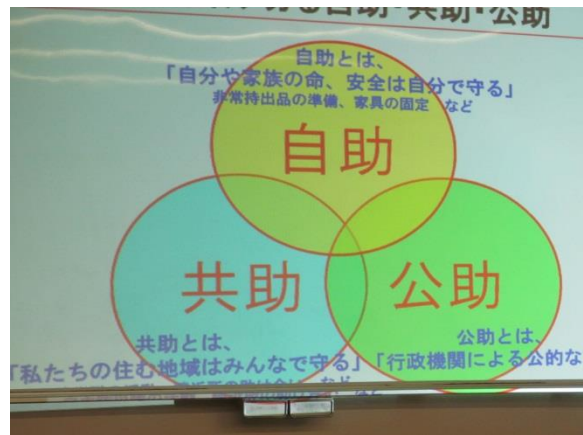


本日はよろしくお願いたします。お手元の資料、または前方のスクリーンで進めさせていただきます。

本日は主に地震と風水害の2点についてお話をいたします。地震の動画を使って説明・首都直下型地震をイメージしていますので少し内容が重いかもしれませんが。

地震

自助共助公助の考え方、本日は自助について重きを置きます。厚木市では3日分の食料や水を確保すること進めています。地震はいつ来るか予告ができません。



風水害はニュースなどで事前に知ることができます。家具が倒れてきて被害を受ける人が多いので家具の転倒防止を図ることが大切です。これで怪我の半分は防ぐことができます。ローリングストック(回転備蓄)の方法もそのひとつです。もう一つはトイレです災害用、レジャー用に簡易トイレが発売されておりますのでこれも考え裏中に入れておくとうろしいと思います。

風水害

次に風水害です。避難に関しては避難準備、避難勧告、避難指示の三つの段階があります。必要に応じて厚木市の方から連絡いたします。気がついた時もう逃げられない状態であれば避難場所に行くことはせず垂直避難をしてください家の中で一番高いところそして山側から離れたところに避難してください

例会データ	9月	在籍会員	16人
会 員	11人	メイキャップ済み	0人
ビジター	3人	出席率	69%
ゲスト	1人	ロバ	
合 計	15人		7,080円

い

### 質問

卓話後に以下の質問と回答があった。

ハザードマップについては全戸配布しています。

防災ラジオについてはもっと手に入れやすくする  
といい。

### 卓話終了後会場を変え第 I 例会に移行。

例会の中で守屋 那々子リーダーからユースボラン  
ティアリーダーズフォーラムの参加報告があった。

### <以下報告>

第 33 回東日本区ユースボランティアリーダーズ  
フォーラム参加報告 YMCA 健康教育部守屋  
那々子リーダー

主なスケジュールは 2019 年 9 月 5 日金曜日から 9  
月 8 日日曜日まで東京 YMCA センターで開かれま  
した。

スケジュールは基調講演が一日目、二日目がグル  
ープディスカッションで三日目に発表という流れで  
した。

大事なことは子供を認めてあげることのできる大  
人、やりたいことを否定せず受け入れる。そして気  
持ちや思いの共有をすることだと感じました。様々  
な人の意見を聞くことが自分の成長に繋がると感じ  
ました

### あつぎYMCAより子ども食堂参加報告

10 月 26 日午後 5 時から、YMCA の子ども食堂が  
開催されました。家族連れが 60 人ほど集まりました。

前は、異国風なメニューでしたが、今回は鳥肉  
のシチューとパンにデザートで、家庭的な雰囲気が



いっば  
いでした。

食事が終わると体育館でボール  
を使っ

たゲームが、行われました。楽しそうな子どもたち  
の音が響きましたが、遊び疲れた頃、体育館の床に

子どもたちも保護者も座って、厚木ワイズのメンバ  
ーによる紙芝居や、手遊びや語りで楽しみました。



子ども食堂は初め、親に捨てられてしまった子ども  
たちや、一人でしか食事を取れない家庭環境の友人を、  
下町食堂で振る舞った事から成り立っていますが、その  
実態は表面化しにくく、日常的に地道に取り組みなく  
ては手を差し伸べる事にはならないと思います。YMCA  
に来ている子どもたちは、恵まれた幸せな家族連れに  
あふれていて、ちょっと安心しました。

横浜YMCA **YMCA** みつかる。つながる。よくなっていく。

厚木市市民協働提案事業

## あつぎYMCA子ども食堂

10月から2月のおしらせ

<b>10月26日(土)</b> <b>スポーツの秋！</b> <b>レクリエーション大会</b> 17:00-19:00	<b>12月21日(土)</b> <b>クリスマスの</b> <b>お祝い</b> 12:00-15:00
<b>1月26日(日)</b> <b>みんなで</b> <b>おもちつき</b> 11:30-13:30	<b>2月28日(金)</b> <b>保育園のごはんを</b> <b>食べてみよう</b> 17:00-19:00

料金：子ども100円・おとな300円 どなたでもお越しください

あつぎYMCA子ども食堂は…  
「食事」の提供にとどまらず、体育館やプールを利用した健康づくりや、留学生との国際交流体験などをとおして、子どもたちが安心して過ごし、社会にある様々な価値に触れつつ自らの可能性に気づき、伸ばせる居場所づくりをめざしています。  
またひとり親などの孤立を防ぐために、保護者にとっても居場所となるよう、福祉専門職による女性の資格取得や就労などについて、寄り添い型の相談支援も行います。どなたでもお気軽にお越しください。

厚木YMCA 厚木市中町4-16-19 TEL046-223-1441



## 11月クラブ活動予定

- 11月 9日 第二例会
- 11月16日 インターナショナルチャリティラン
- 11月27日 第一例会

第22回 横浜YMCA  
インターナショナル・チャリティーラン2019

2019.11.16 [Sat]  
9:45~14:30  
※雨天決行・荒天時中止

私たちが  
あつた子  
どもたち  
を  
応援して  
います

場所  
みなとみらい21地区  
臨港パーク内特設コース

参加費  
各コース1チームにつき5万円

プログラム  
●Aコース(1人1,100m)  
●Bコース(1人800m)  
●Cコース(1人180m)  
●パフォーマンスラン  
(1周180m)

詳細は中面をご覧ください

◆主催◆  
公益財団法人 横浜YMCA

◆共催◆  
横浜YMCA賛助会  
ワイズメンズクラブ国際協会東日本区  
横浜ワイズメンズクラブ  
鎌倉ワイズメンズクラブ  
横浜とつかワイズメンズクラブ  
厚木ワイズメンズクラブ  
金沢八景ワイズメンズクラブ  
横浜つぎワイズメンズクラブ  
横浜つるみワイズメンズクラブ  
日本YMCA同盟

◆全国後援◆  
内閣府  
厚生労働省  
(株)全国社会福祉協議会

◆後援◆  
神奈川県  
神奈川県社会福祉協議会  
横浜市民局  
横浜社会福祉協議会  
神奈川県レクリエーション協会  
公益財団法人こほまコース  
横浜商工会議所  
神奈川県新聞社

◆協力◆  
パシフィック横浜

◆全国協賛◆  
National Sponsor  
Mitsubishi Corporation

◆物品協賛◆  
Prize Sponsor  
CATHAY PACIFIC  
AMER SPORTS

tvk (テレビ神奈川)  
横浜放送局

## 監事より一言

当会報の1ページの主題をご覧ください。  
「気長にじっくりと」、「基盤の再構築をする」、「勇気ある変革」、「Action!」、「よりよい明日のために今日を築く」。

それぞれの組織がその目標に向かっていていると思います。最近思うことですが、湘南沖縄部は時流に合っているでしょうか。部の変革は各所属クラブの皆さまの勇気ある決心が必要です。「隗より始めよ」という言葉があります。まず、厚木クラブの皆さまが決心して、気長に、じっくりと、部の変革に取り掛かるのはどうでしょうか。もちろん、「このままでいいよ」とお考えであれば、その限りではありませんが。

## 特別寄稿

フレッシュフォーラムスタート（若きリーダーとの交流）提案  
田口堅吉

厚木Yのリーダー数は横浜Yの中でダントツとかねて伺っておりましたが、当クラブでは学業を終えリーダーを返上して去りゆくリーダーの春の送別会に招かれたり、招かれなかったりする程度で、こちらから積極的に接触することはなかったように思います。なお厚木Yのリーダーさんの多くは厚木Yの専門学校の生徒さん達だと聞いております。

そんな訳で、東日本区がスポンサーとして毎年行われるユースリーダーズフォーラムへの厚木Yのリーダーの出席率が長年低調なのを気にして、クラブとして幾度か問題提起してきましたが、今回館長さんから専門学校の授業時間厳守を優先せざるを得ないため残念ながらご希望に添えない旨の明確なお話がありました。

ではこの際どう動くか？

クラブにとって若きリーダーさん達との交わりを深めることは当然の事ではないかと思えますし、親しくすれば、次第に協働してできる地域活動があれば一緒に参加するのが可能となっていくのではないのでしょうか。いい機会に巡り合えたとすら思えます。

具体的にはまず春の連休前後に新人リーダーさん達を招いてフォーラムを厚木クラブが主催して行ってはどうでしょうか、もともとフォーラムとはギリシャ語で広場のことだそうで、広場で皆でワイワイガヤガヤ話合っている知らず知らずのうちに切磋琢磨されて、いろいろないい考えが浮かんできたという故事が語源と聞いております。立派な教師がいなくても、幼児ですら単に集まることだけでグンと成長するとは心理学者の広く認めるところでもあり、当方のフォーラムも必ずや効果はあると思えますが、

広場でなく、教室を借用して、その年新入りのリーダーさん達を招いておそらく10人程度でしょう、昼ごはんはみんなで焼きそばでも作って食べ、その前後に感話をクラブの有志がする。堅い話ではなく、例えばブリテン'15年11月号記載の小松前会長の「雀に学ぼう危機管理」など小学生の通学の安全を守る参考になる素晴らしいお話と思えますが、毎年同じお話でも毎年聞く人は変わるわけですから外部から有名人をお招きする要はさらさらないと思えます。続いてキャンプソングの練習、遊戯などで雰囲気や和らげ親密さを増すようにしては、3~4年すればリーダー全員ワイズをご存じということになり、地域活動も本格化できるのではないのでしょうか。資金としてはロースター広告代を転用すればと思えますが、

御一考いただければ幸いです。